

生活創造しんぶん第8号

平成15年11月

編集・発行

県立姫路生活科学センター内
生活創造広場

第15回兵庫のまつりーふれあいの祭典

第15回兵庫のまつりーふれあいの祭典「ふれあいフェスティバル2003」が10月4日(土)、5日(日)の両日
～「美しい未来への路」ひょうご美し街道～をテーマに姫路城周辺で開催されました。

各イベントの中で西播磨消費者団体連絡協議会の皆さんも「さわやか環境まつり」に参加し、リサイクル運動の一環として紙すき体験コーナーを福崎町消費生活研究会のみなさんのご指導で設けました。多くの子どもさん達が牛乳パックや広告のチラシを使った再生紙(ハガキ)づくりに挑戦し、出来上がったきれいなハガキを喜んで持ち帰られました。

また、マイバック運動の推進を促すために会員の方の手作り買い物袋を展示、米の消費拡大の促進運動では、米粉パン(国産米の粉にグルテンを加えて作ったパン)を幅広く



消費者の方々に知ってもらおうと試食コーナーを設けて、フェスティバル参加者に味わっていただきました。

米粉パン試食後の西播磨消費者団体連絡協議会のアンケートには、約1000名の方から回答が得られました。

☆ 米の粉でパンができることを知っていましたか? 「知らなかった」約67%

☆ 米粉パンを試食後の感想は?

「おいしい!」約86%

☆ ☆ 米粉パンが商品として売られていたら購入しますか? 「買う!」約95%

と好評でした。



又、兵庫県では自治の精神に基づき 明るく住みよい地域づくりに貢献した方々に、その功績をたたえ、自治賞(女性・消費生活功労)を贈り、「ふれあいフェスティバル」の席上で表彰式がありました。

中播磨県民局管内では、姫路市消費者協会理事河田富貴枝さんと夢前町消費者協会前会長中塚節子さんが選ばれ、多くの受賞者と共に表彰を受けられました



「宮本武蔵」に続き来年も姫路が・・・・姫路 **亀山本徳寺** が浮上

NHK 大河ドラマ「新撰組」ロケを終える

亀山本徳寺の本殿は、2度の火災で焼失し、今の本堂は京都の西本願寺より明治6年に移築された建物です。幕末に名を馳せた新撰組は当初壬生(みぶ)に屯所を構えるも手狭となったために、『どこか広い屯所に移ろうと話が持ち上がりました。そこで白羽の矢を立てられたのが、西本願寺の境内であった。』確かに西本願寺の境内は広いのですが、僧侶達の猛烈な反対に合いました。西本願寺では末寺を動員して千両箱を用意し、断わりに行くも新撰組は聞き入れず、ついに五千両を馬で運んだという歴史もあります。

「しかし今や天下は争乱の時を迎えている。京の守護たる会津侯のお手元を勤める新撰組が西本願寺を拝借するのは、いよいよこのご奉公で実を示さんが為である。」大義名分のもとに使用していない建物を屯所として使用することとなりました。

実はこの建物(屯所)が今、姫路の亀山本徳寺にある本堂(仮御堂)であります。

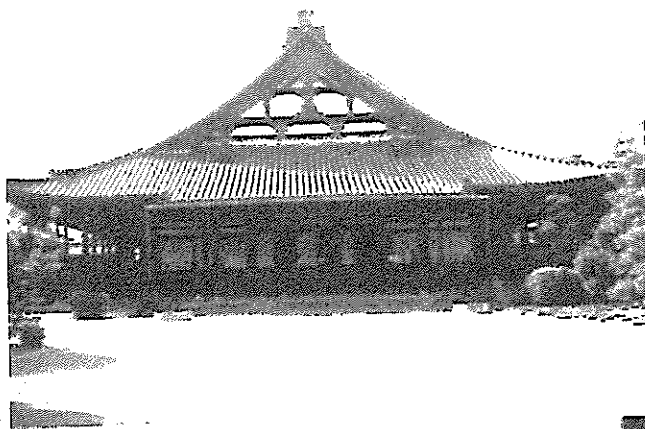
《一部 早乙女貢著 新撰組列伝より引用》

本堂や境内各所で、来年の NHK 大河ドラマ「新撰組」の放映の中で使用される場面の撮影が今年行われ、書写山円教寺での「宮本武蔵」に引き続いて、大河ドラマを観るのが一層の楽しみになりました。

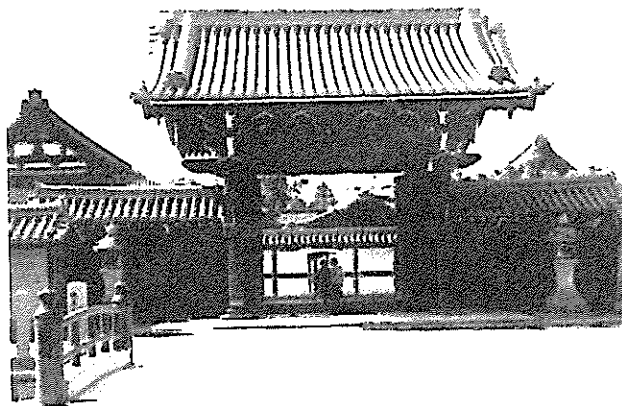
そして生活創造しんぶん第2号でもご紹介しましたが、故鹿島守之助氏の次女石川ヨシ子画伯により本堂格子天井の金箔ばりにしたためられた見事な絵画85枚(一枚54㌔角)は一見の価値があります。金箔ばりでありながら透明感があり、すばらしい逸品です。

どうか新撰組の息吹きの感じられる亀山本徳寺へ足をお運びになりませんか。

(応援隊 三木 勝)



＜亀山本徳寺本堂＞



＜大門＞

亀山御坊楽市楽座 (毎月第4日曜日午前9時から)

お寺の白州はもともと門徒の集会の場であり、市場でもありました。お寺という仏法領は門徒が自ら治めた自治領でした。ここには、今から四百年前、人、物、金が往還し、治権を勝ち取った民衆の活気がみなぎっていたのです。

この由緒ある場で、とれとれの農産物の朝市や骨董市などの楽しい楽市楽座を四百年ぶりに復活させました。 **ぶらっとお出かけになりませんか？** (NPO 法人コムサロン 21)

～モンゴル植林体験ツアーに参加して～

モンゴル国では、平成8年～平成10年にかけて森林大火災が発生し、多くの森林が消失しており、兵庫県の協力を得て森林再生計画に取り組んでいます。

森林が温室効果ガスの炭酸ガスを吸収することから地球温暖化防止にも関係しており、「植樹体験」とともに首都ウランバートルでの「森林再生国際フォーラム」に参加するツアーで（財）ひょうご環境創造協会が主催したものです。

モンゴル訪問の翌日は降雨量が500mm/年と雨の少ないモンゴルでの雨となりましたが、過剰な放牧が原因といわれる砂漠化現象地を視察し、翌々日の午後はフォーラムに参加しました。

そこではウランバートルの都市化が激しく放牧生活の変化など生態系への配慮と長期的な視点での森林再生計画や単年度予算でなく基金による大規模プロジェクトが必要なことなどが述べられました。

また、地球温暖化防止条約の京都議定書に定められた「クリーン開発メカニズム（CDM）」（＝先進国と途上国が共同で炭酸ガス削減を行い、その削減量の一部を自国の削減量に充当できる仕組み）についての発表もあり、植林とバイオマス利用を組み合わせた「兵庫型 CDM」の提案がありました。



因みに、我が国に義務づけられた温暖化効果ガス削減量6%のうち、3.9%を森林による炭酸ガス吸収で目標達成を考えています。

植林体験については、森林火災跡地に2年生のカラマツを植樹しました。当日は素晴らしい晴天であり、広大な草原を満喫し、夜はツーリストキャンプのゲル（モンゴル式住居）での宿泊となり、久しぶりに満天の星空を眺め、ストーブで暖をとりながら（8月22日ですが）美味しいモンゴルウオッカをいただいて眠りにつきました。



四泊五日という短い期間でありましたが有意義なツアーでした。

さて、森林は炭酸ガスを吸収（固定）する効果があり、50年生の杉で約190kgの炭素（炭酸ガス量は3.7倍）を貯蔵しているといわれています。

兵庫県温暖化防止推進計画では森林等緑の保全・創造による炭酸ガス吸収源の確保として家庭や都市緑化、里山林整備を始めとする森林保全、整備活動を積極的に展開することとしています。

私たちも緑化事業により一層の関心を持って県民総ぐるみの取り組みが求められています。

（応援隊 溝口章宏）

これからの公園のお手本かな？

先輩の心受け継ぎ美しい故郷づくり！！

民俗学の父柳田国男の郷 福崎にソーラー発電装置の設置された公園が出来ました。

福崎特産の「もちむぎ麺」の楽しめる「もちむぎのやかた」を後にし、2001年移設復元された巖橋を渡ると石垣を積んだ小川の流れる小さな公園が現れます。

地球温暖化防止と自然エネルギーの有効利用等の啓蒙活動を兼ねて太陽光発電装置が2003年に設置されました。

公園内の街路灯をはじめ水質浄化装置・せせらぎ水路の水循環装置等に使われています。(日照不足等の時は、商用電気も併用されています。)

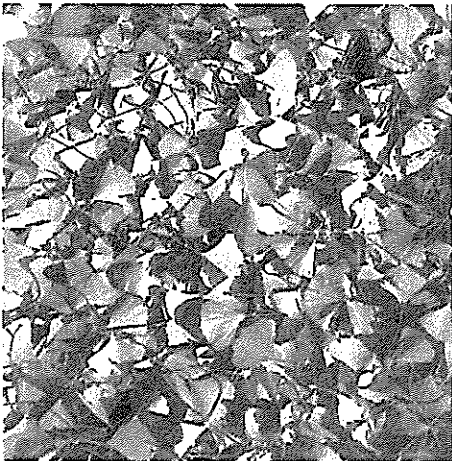
近くには柳田国男生家・記念館・歴史民俗資料館・大庄屋三木家・民俗の森(辻川山)もあり、町内でも文化の香り高いエリアです。

故柳田国男自身が語った「日本一小さな家」からすばらしき五兄弟が生まれたように、この小さな町福崎にも地球に優しいすばらしい施設が次々と出来ますよう願います。

(応援隊 小國 冷子)



～いちょうの実が落ちる！さあ始動～



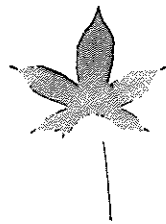
檀家を持たないお寺に、いちょうの古木があります。お寺の住職が不在となり、区で維持管理をする事となり、ぎんなんを無駄に捨ててしまったり、区民以外の方々に拾われてしまうのは、意に反するとして、ボランティアの集まり「あたごの会」の発足となったのです。落ちた実を毎朝拾い集めて、肥料袋などに入れて、二週間程度置き、順々に中のぎんなんを取り出し、きれいに洗い、乾燥させてやっと地域の産直市での販売となります。この作業は休日などの時間を割きながら12月中旬まで続き、収益金はお寺の維持管理に使われます。

ぎんなんは茶碗蒸しに入れるなどして食べられていますが、殻から取り出すのが大変だと思われる方が多いと思いますので、簡単な方法をお教えしましょう。

まず紙封筒に10～15ヶ入れて塩を振り入れ、袋の口を2～3回折り曲げて電子レンジで約1分間加熱すると簡単に取り出せて、おいしく食べられます。

どうぞお試しください！

(応援隊 井上 ひとみ)



大河内の秋祭り「とんぼ」

大河内町比延の日吉神社秋祭りには、五つの屋台が集まり その他の催しで三組の花嫁道中があります。その花嫁は「とんぼ」と呼ばれる長持ちの太い担ぎ棒の上にまたがり、前後4人ずつのお付きの人に担がれ花嫁道中を行ないます。

そしてその上の花嫁はなんと男性なんです。「エッチェロ、ドッコイ」の掛け声と共に、上下にゆれロディオさながらの乗り心地のようです。「とんぼ」の起源は定かではないのですが、最初は祭り屋台の担ぎ手の弁当を入れ屋台の後ろから運んでいたのですが、それをもっと楽しくしようと始まったようです。

一時は途絶えていましたが、今では寺前・上岩・鍛冶の三地区に保存会があります。

それぞれの花嫁（男性）は、朝早くより初めての化粧に専念し、着付けを終えて変身を遂げます。そして紋付、羽織、袴姿の花婿（もちろん男性）と寄り添って宮入した後に三々九度の儀式を行い、神社本殿前

は笑いの渦に包まれます。花嫁も賞禄のある壮年から初々しい若者まで年によって違いますが、毎年女性の間で「今年の花嫁は可愛かった！（＾ｏ＾）」などと評価するのが楽しみの一つとなっています。

花嫁役も大変で、「とんぼ」を長い道中乗りこなすにもコツがいるらしく、祭りのあと一週間くらいはまっすぐに歩けないそうです。祭りを盛りたててくださるのにも大変なご苦労がありました。

（応援隊 浦上 文代）



～布でぞうりを作りました！～

町内にあるハンカチ工場の裁断で余った布を譲り受け、リサイクルに役立つ布ぞうりを作ってみました。裂き布でも応用出来ます。幼いころの記憶にある田舎のおじさんが編んでいたわらぞうりの編み方、何年か前のおしゃれ工房の本も参考に、84歳の母に聞いたり、女学校で習ったという方に教えていただいたりして毎日編んで覚え、8月24日に開催した「市川町消費者の会」のリサイクル手芸教室で皆さんと一緒に作りました。



私自身スリッパをはいて家の中でころび、足の指を骨折という経験が2回続けてありましたので、旅先で竹や布のぞうりをわざわざ探して買い、履いていました。

布のぞうりは洗濯ネットに入れて洗うことも出来、忙しい主婦にぴったり！フローリングの床を履きながら拭き掃除ができるからです。

皆さんもお作りになりませんか？

ご希望がございましたらお教えしますよ（＾ｏ＾）

（市川町消費者の会 後藤 満里子）

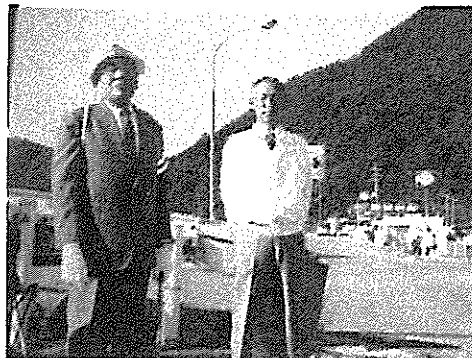
～交通指導とあいさつ運動を続けて～

子どもたちを地域ぐるみで育てようといわれている昨今です。

夢前町糸田橋東の三叉路で小学生、西の三叉路で中学・高校生の安全を願って毎朝ボランティアで交通整理を長年続けておられる3名の方をご紹介します。

お勤めをされながら、青少年問題協議会古知支部長の鈴木繁信さん。地域交通安全活動推進委員でジュニアゆめさきボランティアサークル会長の坂本毅さん。今年も学校給食用にたまねぎ・じゃがいもを作られ、夢前町地域づくり推進委員会の会員でこのとり賞を受賞された名倉照夫さん。

『子どもの笑顔が見たい。表面だけ見て判断しないで。対話を大切にふれあっていたい。私自身生活のリズムがよく自分のためにもなっています。』と鈴木さん。『交通安全を通してコミュニケーションと健全育成をかねてしています。自分も楽しみ、長年してきましたが一度も事故のないことを誇りに思います。』と坂本さん。『事故のないように子どもたちが安心して渡れるように、また運転手の方も安心して通行できるように心がけています。』と名倉さん。



目のまわるような交通ラッシュの中、流れよく子どもたちに絶えず声をかけながら笑顔で誘導されています。

『昨日は元気だったのに今日は笑顔がない、何かあったのでは。』『始業時間なのに、姿が見えない、どうしたのだろう、おかしいな。』



子どもたちが楽しく学校生活を送られるように、温かく見守っておられることが伝わってきます。『地元の方の協力をいただいています。』と、本多光義中学校長先生の言葉です。『おはよう』と声かけすると照れながらにこっと笑った子どもたち。朝の通学路で4名の方と同じ真剣な時間を共有し、子どもたちが健やかに成長されることを願いました。

(応援隊 谷口 昭子)

『母親クラブ』

『母親クラブ』とは児童の健やかな成長を願うお母さん達が、地域社会に根ざした活動を自主的に進めていく全国的なボランティア団体です。

現在、姫路市には星の子館や各児童センターを拠点に9つの母親クラブが活動しています。

1. 親子および世代間の交流、文化活動
2. 児童養育に関する研修活動
3. 児童の事故防止のための活動
4. その他 児童福祉の向上に寄与する活動

この4本柱に沿って 幼児クラブ、人形劇、手芸、料理、スポーツ、交通安全、おまつり、運動会など 各クラブではさまざまな活動をしています。

少子化、核家族化が進行するなか、子育てについてひとりで悩むお母さんが増えています。

地域のお母さんたちが共に手をつないで、子どもたちにとって、少しでも住みやすい社会になるようにお互いの親睦をはかっています。

(応援隊 前田 久美)

『母親クラブ』のご質問・お問合せ先

星の子館

＜センターからのお知らせ＞「相談事例」

「3年前に購入したIH炊飯ジャーの本体の内側部分が帯状にボロボロとなり、穴が開き、黒い粉状の樹脂破片が本体底に落ちているのに気づき驚いた。取扱書に書いてあるとおり普通の使い方をしているので製品に問題があると思う。調べて欲しい。」(30代・女性)

当センターからメーカーに問合せたところ、メーカーには他にも同様の苦情があり、既に次のような改善策をとっていました。

■ 原因は

- ① 穴が開いた部分の材質はポリプロピレン樹脂製でこの部分の外側に保温用ヒータを特殊な粘着テープで張り付けているが、張り付け方によっては、粘着材の溶剤成分が残留することがある。
- ② この残留ガスと保温温度との相乗作用でまれに樹脂が劣化したと考えられる。

安全性については、苦情品のような状態でも使用しても発火、感電の心配はなく、劣化した樹脂の化学的成分による危険性もないことを調査確認したとの回答でした。

■ 改善内容は

劣化した部分の材質を粘着テープ溶剤の影響を受けない耐薬品性に優れた樹脂に変更したとのことです。

■ 同種苦情への対応は

苦情品のような状態でも正常に炊飯・保温はできるのですが、早期に劣化するのは品質上問題です。

メーカーでは、樹脂部が劣化した場合は販売店に申し出てもらえばメーカーで無償修理するとしています。もちろん事例の場合も無償対応がとられました。



お宅の炊飯ジャーは大丈夫ですか？

～地域教育力 フォーラム in 中播磨～

兵庫県教育委員会では平成13年度より地域教育力の向上を図り、地域の子供たちを地域で育む仕組みづくりの担い手として教育ボランティア活動を行う『地域教育推進委員』が、県民の中から選ばれ、中播磨教育事務所管内でも約50名の委員が活動しています。

私も今年から参加していますが、地域の教育課題等の研究、協議や情報交換を行ったり、教育活動への参加、支援を行い、ともに子供たちを育む環境づくりにがんばっています。

(応援隊 布田 清美)

ご参加自由の地域教育力フォーラムが、下記の日程で開催されますのでご案内します。

と き 平成15年11月25日(火)13:30～17:00

ところ 姫路キャスパホール「キャスパ7階」(姫路市西駅前町88)

☆ オープニング

☆ 討 論 会「しゃべり場」

「学校と家庭と地域の『教育』について…なんでも、喋ろう！」

☆ 講 演

明星大学教授 感性教育研究所所長 高橋 史朗 教授

演 題 「地域で育む、感性豊かな子供たち」

参加申込み・お問合せ先 中播磨地域教育推進会議 事務局

(中播磨教育事務所教育推進課)

—2003—

西播磨生活創造大会

21世紀に入り、社会は成長期から成熟期へと大きく変化し、人々の意識や価値観はモノから心の豊かさにシフトされはじめ、多様な選択や個性の尊重など新しい価値観が育ちつつあります。これまでとは少し違った視点でくらしを見直すときにあるようです。そこで、最も身近な「食」の課題を通して、新しいライフスタイルをみんなで考え、創造し、実践するために講演会を開催します。

日 時 平成15年12月9日(火)13:30~16:00

場 所 イーグレひめじ 3階 あいめっせホール

姫路市本町68-290

講 演 「食の文化と健康」

講 師 伝承料理研究家 奥村 彪生 先生

主 催 西播磨消費者団体連絡協議会

県立姫路生活科学センター

県立西播磨生活科学センター

姫 路 市

(社)家庭電気文化会



～ヤングママくらしの実習講座～

くらしの中の消費者問題を学びながら、お料理をしませんか？

対 象 消費者問題に興味のある子育て中のお母さん

日 時 平成15年11月21日(金) 10:00~13:30

場 所 県立姫路生活科学センター

内 容 ① 牛乳・乳製品についての講座

講 師 (社)日本乳業協会 関西消費者相談室 大 谷 志加子

② 牛乳・乳製品を使った料理(カルシウムアップご飯パンケーキ等4品)

講 師 (社)日本乳業協会 関西消費者相談室 眞 光 洋子

☆お問合せ及びお申込み先☆

県立姫路生活科学センター

☆ センターをご利用いただける時間 ☆

利 用 時 間 消 費 生 活 相 談

9:00~12:00 13:00~16:00

食の安全・安心相談

9:00~12:00 13:00~17:15

休 館 日 土曜・日曜・祝祭日・年末年始

中播磨地域でがんばっているグループ がんばっている人・いい話を

生活創造しんぶんの紙面でご紹介します。自薦他薦は問いません。
12月10日までに原稿を郵便・FAX・Eメールでお寄せください。

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在家本町1丁目1番22号
県立姫路生活科学センター 玉田